

「水産業・水産高校連携育成事業」

岩手県

事業実施機関 : 岩手教育委員会、岩手県漁業担い手育成基金

連携省庁 : 農林水産省水産庁

取組校 : 岩手県立宮古水産高等学校、岩手県立高田高等学校、岩手県立久慈東高等学校

事業目標

本事業は、水産高校において、将来の漁業経営者や水産業関連産業を支える優秀な人材を育成するための実践的教育プログラムを開発・実践することを目標とし、次の定性・定量目標を設定のうえ、成果を評価する。

事業の概要

世界有数の三陸沖漁場を抱える本県は、安心安全な水産物の供給基地として大きな役割を担っているが、漁業就業者数の減少とともに高齢化が進んでおり、漁業生産量の減少や漁村地域の活力低下が懸念されている。このため栽培漁業を中心とした沿岸漁業や水産関連産業の一層の振興と健全な発展を図るため、県教育委員会と農林水産部の連携のもと、本県漁業の担い手と水産関連産業を支える人材の育成に取り組むものである。



事業内容と成果

《生徒の現場実習》

- 内容 ①日本版デュアルシステム
宮古水産高校の生徒が定置網、カキホタテ養殖、サケふ化場水産加工場で約 10 日間の実習を行った。
- ②現場見学・現場実習
宮古水産高校の生徒が漁協施設や水産食品製造工場を見学、高田高校、久慈東高校の生徒が実習船によりイカ釣り体験実習を行った。
- 成果 ①実習を通して、コミュニケーション能力や勤労観、職業観の育成が図られ、地域水産業の理解が深まり、地域水産業で働く意欲が向上した。
- ②現場見学等を通して、地域水産業への興味関心が深まり、学習意欲が向上した。



《 漁業・水産技術者等の学校での実践的指導 》

- 内容 ①水産技術者による講義
水産食品会社を経営する社長よる岩手の水産加工の現状等の講義を行った。
 - ②漁業者による講義
指導漁業士よる藻場、干潟の役割や養殖カキについての講義を行った。
 - ③漁業者による技術指導
指導漁業士よる養殖施設の維持管理に必要な技術指導を行った。
- 成果 ①経営者の実践に基づいた講義で岩手の水産加工の現状について理解を深めた。
 - ②宮古湾の漁場環境について理解を深めた。
 - ③養殖筏の設置についての技術について理解を深めた。



《 教員の高度技術習得 》

- 内容 ①ダイビングによる藻場調査研修
ダイビング等による藻場調査に関する研修を行った。
 - ②カキ養殖技術研修
一粒ガキの養殖技術を研修を行った。
 - ③小型船舶教習教員研修
小型船舶操縦士養成に係る実技教員の研修を行った。
- 成果 研修により教員が専門に関する技術を身につけ、実習内容の充実が図られるなど大きな成果があった。



《 その他の取組 》

- 内容 ①小中学校との連携
 - ②海洋生物科学シンポジウム
 - ③産業界との共同研究（海藻スジメの活用）
 - ④事業所アンケート調査（産業界のニーズ調査）
- 成果 様々な事業を通して地域との連携が強まり、地域の水産業を支える水産高校という位置づけが今まで以上になされた。



連絡先 ◎ 岩手県教育委員会 学校教育室
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
TEL:019-629-6147 FAX:019-629-6144

◎ 財団法人 岩手県漁業担い手育成基金
〒020-0032 岩手県盛岡市内丸16-1
TEL:019-626-3063 FAX:019-625-2122